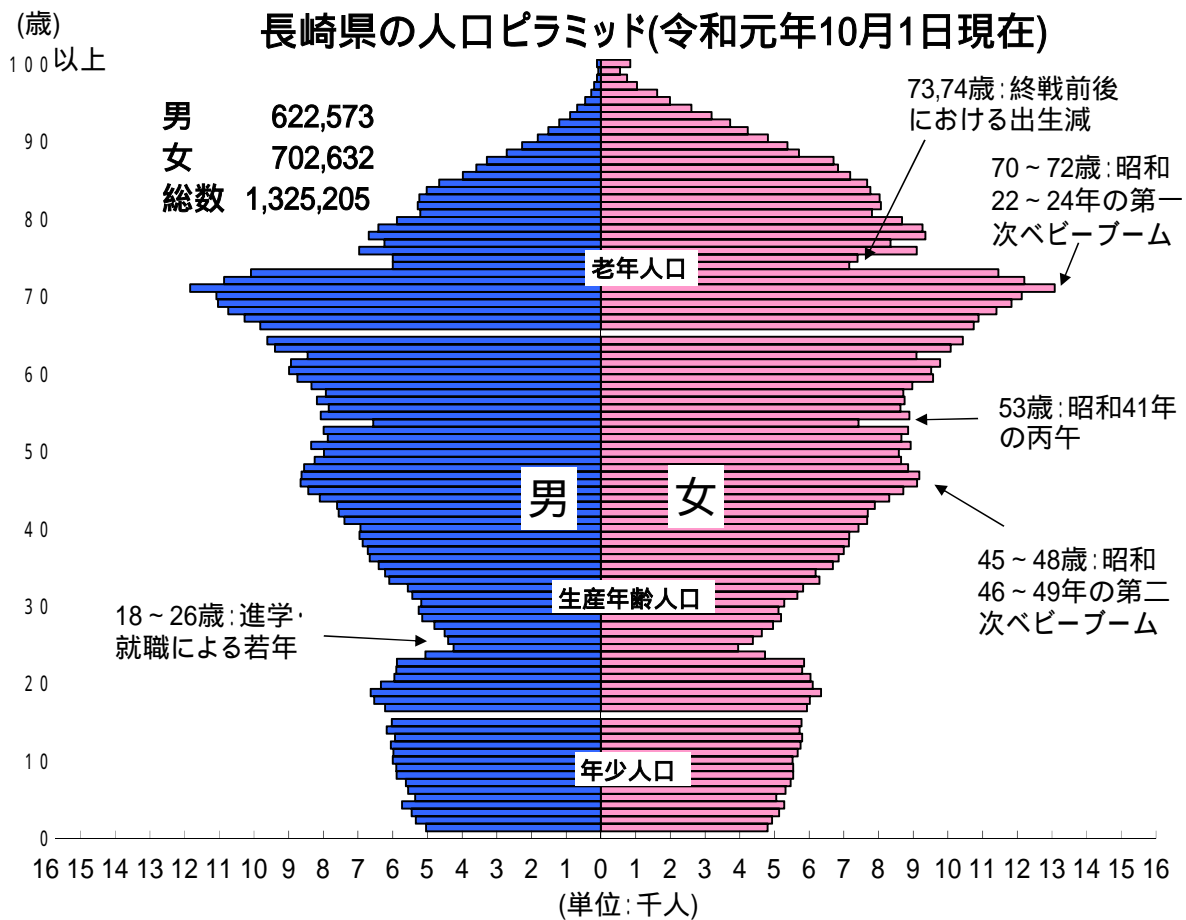


人口の概況



長崎県異動人口調査による令和元年10月1日現在の本県の人口は、132万5,205人で、前年に比べて14,233人(1.06%)の減少となった。

1 男女別人口

本県の人口を男女別にみると、男性62万2,573人、女性70万2,632人となっている。

2 年齢別人口

本県の人口を年齢3区分別にみると、0~14歳の年少人口は16万7,341人(県人口の12.7%)、15~64歳の生産年齢人口は71万9,822人(同54.7%)、65歳以上の老年人口は42万7,988人(同32.5%)となっている。これを前年の構成比と比較すると、年少人口は0.1ポイント低下、生産年齢人口は0.6ポイント低下、老年人口は0.6ポイント増加している。

3 人口の推移

大正9年には113万6,182人であった本県の人口は、昭和15年まで増加し、15年~20年には戦争の影響で減少した。昭和20年~25年には、海外からの引き揚げやベビーブームに加えて石炭産業の興隆により大幅に増加し、昭和35年には176万421人に達したが、昭和40年以後、石炭産業の衰退により、昭和45年まで大幅に減少した。その後、昭和50年から60年にかけて増加に転じたが、60年から再び現在まで減少が続いている。

(県統計課)